令和７年度　第３回

春の歌運営推進会議　報告書

日 　　　　 時： 令和７年９月１８日（木） １３：３０～１４：３０

場 　　　　 所： 春の歌

**１．報告事項**

〇基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| 法　人　名 | 株式会社縹色 |
| 事 業 所 名 | 春の歌 |
| 住　　　所 | 札幌市北区拓北4条3丁目12番16号 |
| 電話/FAX | ０１１－７９２－５８６０/０１１－７９２－５８６２ |
| 事 業 所 番 号 | ０１９０２０２３３３ |
| 事 業 種 別 | 指定介護予防小規模多機能型居宅介護・指定小規模多機能型居宅介護 |
| 事業開始年月日 | 令和5年11月１日 |
| 登録定員 | １８名（営業日/問い合わせ：365日/9:00～18:00） |
| 通い定員 | １日９名まで（提供時間：9:30～16:00） |
| 泊り定員 | １日３名まで（提供時間：16:00～9:30） |
| 訪問対応 | 24時間対応 |
| 職員数 | 常勤4名（兼務2名、専従2名）、非常勤６名（うち看護師1名） |

〇出席者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 市町村職員 | 0名 | 知見を有する者 | １名 | 地域住民・地域団体 | ０名 |
| 利用者 | ０名 | 利用者家族 | ０名 | 地域包括支援センター | １名 |
| 近隣事業所 | ０名 | 事業所職員 | １名 | その他 | ０名 |

**（１）利用者の状況**（令和７年９月１８日現在）

〇登録者数及び男女比

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | ６ | ７ | ８ | ９ | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 登録者数 | １５ | １５ | １６ | １７ | １７ | １７ |  |  |  |  |  |  |
| 男性 | ４ | ５ | ５ | ５ | ５ | ５ |  |  |  |  |  |  |
| 女性 | １１ | １０ | １１ | １２ | １２ | １２ |  |  |  |  |  |  |

〇地域

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 拓北 | 3 | 2 | ２ | ３ | ３ | ３ |  |  |  |  |  |  |
| あいの里 | 4 | 5 | ５ | ６ | ６ | ６ |  |  |  |  |  |  |
| 篠路  （篠路町上篠路） | 5 | 5 | ６ | ６ | ６ | ６ |  |  |  |  |  |  |
| 太平 | 2 | 2 | ２ | ２ | ２ | ２ |  |  |  |  |  |  |
| 百合が原 | 1 | 1 | １ | ０ | ０ | ０ |  |  |  |  |  |  |
| 東茨戸 | 0 | 0 | ０ | ０ | ０ | ０ |  |  |  |  |  |  |

〇要介護度

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 要支援１ | 0 | 0 | ０ | ０ | ０ | ０ |  |  |  |  |  |  |
| 要支援２ | 0 | 1 | １ | １ | ２ | ２ |  |  |  |  |  |  |
| 要介護１ | 5 | 4 | ４ | ３ | ３ | ３ |  |  |  |  |  |  |
| 要介護２ | 6 | 7 | ６ | ６ | ６ | ６ |  |  |  |  |  |  |
| 要介護３ | 2 | 2 | ２ | ４ | ５ | ５ |  |  |  |  |  |  |
| 要介護４ | 1 | 1 | １ | １ | １ | １ |  |  |  |  |  |  |
| 要介護５ | 0 | 0 | ０ | ０ | ０ | ０ |  |  |  |  |  |  |
| 申請中 | 1 | 0 | ２ | ２ | ０ | ０ |  |  |  |  |  |  |

**（2）活動報告**

|  |  |
| --- | --- |
| ７月～８月 | ・春の歌ヨガ（第３火曜日）　・春の歌麻雀（月水土）　・鶏にごはん届ける  ・制作（花火、朝顔、ひまわり）　・誕生会　　　・梅仕事（梅干し仕上げ）  ・外出（コミセン夏まつり、ボーリング、ゆかい西野2周年記念祭、篠路茨戸夏まつり）  ・ドライブ（当別道の駅、花畔ふ頭、さとらんど）  ・消防訓練（通報、避難、消火）※消防署の方に来てもらった |
| ９月 | ・春の歌ヨガ（第１火曜日）　・春の歌麻雀（月水土）　・鶏にごはん届ける  ・制作（トンボ、十五夜）　・誕生会　　・敬老会  ・外出（森フェス、ぶどう狩り）  ・ドライブ（百合が原公園） |

※７月は前回の運営推進会議後。

**☆その他、暮らしの中で行っていること☆**

・お茶入れ、調理、おやつ作り、配膳、食器洗い、洗濯干し、洗濯たたみ、掃除、洗車

・雑巾縫い、生け花、

・買い物（商品選び、セルフレジで会計）

・資源ごみをまとめリサイクルセンターへ持ち込み

・フットケア、アロマハンド、アロマ

🌸**春の歌と地域のかかわり・地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み**🌸

・利用者希望→エスコンフィールドへ行く

・利用者希望→あいの里の居酒屋に行く

・拓北在住の方の相談支援

**（３）事故及びヒヤリハットの報告**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日付 | 内容 | 対応 | 再発防止 |
| R７.７.２２ | 【紛失リスク】通い  液体薬が薬のポケットから落ちていたことに気づく | 家族に報告謝罪し返却。 | 返却する荷物はホワイトボードに記載する  薬預かりのポケットの改良  返却袋を作る |
| R７.７.３０ | 【送迎忘れ】通い  通いの利用者の送迎を忘れた | 別の職員が気づき、送迎を組み直し。他の利用者への影響もあり電話連絡。 | 仕事に入る前の業務日誌の確認方法を変更。自分の担当の部分を抜き出し、訪問、送迎する順番に書いたメモを持って出発する。 |
| R７.８.４ | 【紛失リスク】通い  腕時計がなくなる | 午前に撮った写真を見て、腕時計をつけてきたことを確認し探す。調理の時に外したと予測されたのでエプロン確認し発見。 | 調理や食器洗いの際に腕時計を外すことがあるため、カウンターの上に時計置きを設置。 |
| R７８.６ | 【ライター回収忘れ】訪問  喫煙支援している方のライターを自宅に置いてきてしまった | 当日、次に訪問した職員が回収。忘れた職員に報告。 | 本人に渡した後に、別のことをして忘れるため、火をつけるまで手から離さず、つけた後はすぐにしまう。 |
| R７.８.１３ | 【紛失リスク】訪問  自宅の鍵が一晩ささったままだった | 翌日の朝訪問時に気づき抜いて本人へ渡す。 | 本人が施錠解錠するが、鍵を回収してポケットにいれたかまで確認する。 |
| R７.８.1４ | 【転倒】訪問  透析後、迎えに行った車に乗らず歩き出し転倒。 | 痛み確認。自宅に歩いて戻ったため事業所に報告し看護師が自宅訪問し処置。  次の日、手に腫れが見られ受診。骨に異常なしを確認。  状況の振り返り行い、再発防止・改善ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ実施。札幌市へ事故報告。 | 歩行時、ふらつきあったため支えようと腕をとったが振り払われ、側で見守り行うが転倒してしまったことから、本人の心情、状況から自分が支えられる側ではなく、職員側を支えるという理由で腕を取らせてもらうなど試みる。  道路状況から転倒予測してすぐに支えられる準備をする。 |
| R７８.１９ | 【薬持参忘れ】訪問  持参しなくてはならない薬がないことに気づかなかった。 | 家族に連絡し取りに行った。 | 訪問で薬の確認をするが、薬の袋にその薬の記載がなく気づけなかったため記載する。 |
| R７.８.２８ | 【シートベルト忘れ】訪問  透析送迎時、シートベルトをつけるの忘れた | 少し走ったところで気づき、停車して装着。 | 透析病院の看護師とのやり取りのことを考え、注意力低下していた。  乗車の際の安全確認を徹底。 |
| R７.８.2７ | 【訪問忘れ】訪問  午前午後訪問の方について、午後訪問を忘れていたことに数日たってから気づく。 | 家族に連絡。訪問忘れた日の状況を確認。謝罪。 | 前日の訪問キャンセルを27日キャンセルと間違って職員に伝わった。家族から連絡来ず、訪問忘れに気づかなかった。  家族とケアマネ間での情報が職員に正しく伝わらなかったことから、予定変更については全員で共有できるように、ケアコラボ（電子ケア記録）に記載いただくよう家族に依頼。 |
| R7.９.５ | 【訪問忘れ】訪問  午前訪問予定の方の名前が業務日誌に記載しておらず、訪問していなかった。 | 午後気づき、本人に連絡をして訪問。謝罪。 | 通いの曜日変更後で業務日誌が変更前のままだった。業務日誌を作る際に抜け落ちないよう元になっている週間スケジュールと照らし合わせてチェックする。できれば二人で読み合わせまで行う。 |
| R7.９.８ | 【離設リスク】通い  トイレから出て、1人で外に出ていた | すぐに気づいて本人に声掛け。 | 朝から外に出たがっている様子があった。職員間で共有し注意する必要があった。  その日の本人の状態から行動を注意深く観察する。 |
| R7.９.９ | 【転倒】通い  ラジオ体操中に尻もちをついた | 職員が横で見守り行っており、すぐに支え衝撃を抑えた | ふらつきの強い方のため、ラジオ体操の際には後ろに椅子を置いているが、椅子の足にぶつかった可能性があるため、椅子を少し離してすぐに支えられる距離で見守る。 |
| R7.９.１５ | 【誤薬】泊まり  就寝前薬の服用介助忘れ。気づいたのは17日昼だった。 | 気づいた後、再発防止・改善ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ実施。  家族へ報告、謝罪。  札幌市へ事故報告。 | チェック表の活用も失念防止できなかったことから、出勤後にチェック表の確認。服薬時間にタイマーセットし注意喚起。夕食後、就寝前にはチェック表の確認を徹底。 |

**（4）職員研修参加状況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日付・場所 | 研修名 | 主催者 | 参加者 |
| R7年7月21日（月）  春の歌 | 業務継続（BCP・災害）  非常災害時の対応に関する研修 | 内部研修 | 全職員 |
| R7年８月１８日（月）～9月１９日（金）  オンデマンド視聴 | 「認知症ケアとどう向き合うか」  「介護現場における人材定着促進・離職防止の取り組みについて」  講師：高口光子（元気が出る介護研究所） | 北海道デイサービスセンター協議会 | 鬼塚亜美 |
| R7年８月１９日（火）～２０日（水）  ZOOM | 介護支援専門員更新研修 | 北海道総合研究調査会（HIT） | 鬼塚亜美 |
| R７年８月２１日（木）  プラットホーム | あいの里健康塾 | 介護老人保健施設プラットホーム・来夢ライン訪問看護ステーション・相談センター「ﾚｲﾙ」 | 杉本香陽 |
| R7年8月22日（金）  春の歌 | 業務継続（BCP・災害）  感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止に関する研修 | 内部研修 | 全職員 |
| R7年8月26日（火） | 令和7年度第1回東区支部定例研修会「カスタマーハラスメントの実態や傾向と法的知識について」  講師：石塚慶如（ゆいと法律事務所） | 札幌市介護支援専門員連絡協議会 | 杉本香陽 |
| R7年８月３０日（土）  ZOOM | エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座 | 一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会 | 杉本香陽 |
| R7年9月4日（木）11日（木）18日（木）  ZOOM | エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座 | 一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会 | 杉本香陽 |
| R7年９月５日（金）  あいの里地区センター | 在宅医療に必要な看取りとエンゼルケア  講師：波多野景士（おくりびとのお葬式） | 医療法人奏（あいの里アットホームクリニック） | 鬼塚亜美  杉本香陽 |
| Ｒ７年９月１０日（水）  北区民センター | 令和7年度多職種連携意見交換会（第132回北区在宅ケア連絡会）  「強い介入拒否が有る認知症の方への支援」に関する多職種連携意見交換会 | 札幌市医師会・札幌市医師会北区支部・東区支部 | 杉本香陽 |

**（5）委員会実施状況**

|  |  |
| --- | --- |
| R7年８月２２日（金） | 身体拘束廃止委員会 |

**（６）事業所の地域参加**

|  |  |
| --- | --- |
| R7年8月16日（土） | 注文を間違えるレストランたくあい　打ち合わせ（杉本） |
| R7年8月1８日（月） | 注文を間違えるレストランたくあい　打ち合わせ（杉本） |
| R7年８月１９日（火） | 拓北あいの里ケア施設町内会８月例会（杉本） |
| R7年8月25日（月） | 注文を間違えるレストランたくあい　準備（シール貼り）  （春の歌利用者、サンサンイシカラ利用者） |
| R７年９月５日（金） | さわやか健康セミナー（鬼塚） |
| R7年９月１２日（金） | 生活支援ボランティア（鬼塚） |
| R７年９月１６日（火） | 拓北あいの里ケア施設町内会９月例会（鬼塚・杉本） |
| R７年９月１７日（水） | グループホームのどか運営推進会議（鬼塚） |
| R7年9月18日（月） | 注文を間違えるレストランたくあい　打ち合わせ（杉本） |

**２．地域の情報提供**

・見守り通信「訪問買取」トラブル発生中！のチラシ（包括）

・認知症サポーター養成講座のお知らせ。VRの機械が10月に包括に届く。認知症の体験をしてもらう予定（包括）

・篠路で開催されていた認知症カフェが会場がなくなったため中止。拓北のデイサービス職員から認知症カフェ開催したい旨相談あった。春の歌でも開催できるのでは？（Aさん）→認知症カフェが地域にあることは大切だと感じているが、春の歌で開催すると地域の方が気軽にとはいかず、知っている人しか利用しないという形になってしまう。地域の喫茶店、レストランなど飲食できる場所を借りて開催することで、「見える認知症カフェ」ができるのではと思案中（春の歌）

**３．質疑応答**

・春の歌の町内会に「春の歌通信」を回覧してもらえないか相談し、1区だけ回覧してもらえることになった。相談をした役員さんは好意的に受け取ってくれたが、役員会で話し合った際には「商売目的でチラシを回覧するのは望ましくないのでは」という意見もあったと聞く。「地域密着型」の事業所である春の歌が、地域住民と交流を持ちながら事業運営したいという目的は伝わりづらく、「営利目的」という印象の壁が厚いと感じる出来事だった。顔の見える関係性を地道に作っていこうと思っている（春の歌）→春の歌のような考えを持っている介護事業所は少ないのが現実。営利目的と見られるのは仕方ないだろう。地域の人に定着していくのは時間かかると考えて（Aさん）

・報告書にも記載した拓北在住の方への介護保険を使わない支援について。

夫婦二人暮らし。妻が入院し、視覚障害がある本人から毎週届くトドックを止められないこと、冷蔵庫の中のものを整理したいができないという相談。トドック休止の電話支援と、冷蔵庫内の廃棄するものをゴミ袋にまとめる支援を行った。また、その後は郵便物を読み上げ機能で把握しているが、送付元の連絡先が知りたいとのことで調べてお伝え。このような介護保険を使わない支援もできる範囲でやれると思う。また、地域のボランティア組織にも属しているため、ボランティアに依頼できることは繋ぎます。包括で受けている相談でこのような支えが必要な方がいれば連絡ください（春の歌）→ありがとうございます（包括）

**次回開催**

令和７度 第４回春の歌運営推進会議は、１１月1３日（木）１３：３０から開催いたします。